



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 (株)神鋼環境ソリューション  
 コード番号 6299 URL <http://www.kobelco-eco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)大瀨 敬織

問合せ先責任者(役職名)総務部長 (氏名)芳野 真弘

TEL 078-232-8018

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	112,405	14.7	5,635	60.8	5,673	60.7	3,617	32.6
2020年3月期	97,998	8.6	3,504	5.3	3,529	5.7	2,728	11.7

(注)包括利益 2021年3月期 4,811百万円 (90.3%) 2020年3月期 2,528百万円 ( 3.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	224.49		11.6	6.3	5.0
2020年3月期	169.33		9.7	4.1	3.6

(参考)持分法投資損益 2021年3月期 0百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	95,993	33,450	34.6	2,061.63
2020年3月期	84,694	29,365	34.4	1,809.48

(参考)自己資本 2021年3月期 33,224百万円 2020年3月期 29,161百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,044	1,941	2,398	4,757
2020年3月期	5,256	2,291	2,955	5,311

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		45.00	45.00	725	26.6	2.6
2021年3月期		0.00		60.00	60.00	966	26.7	3.1
2022年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00		29.3	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	2.1	5,000	11.3	5,000	11.9	3,300	8.8	204.77

(注)詳細については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	16,120,000 株	2020年3月期	16,120,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	4,314 株	2020年3月期	4,210 株
期中平均株式数	2021年3月期	16,115,752 株	2020年3月期	16,115,838 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	93,723	19.1	3,764	109.8	4,066	93.3	2,503	36.8
2020年3月期	78,725	4.3	1,794	12.1	2,103	9.4	1,830	8.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	155.34	
2020年3月期	113.56	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	80,529	24,769	30.8	1,536.98
2020年3月期	68,651	22,948	33.4	1,424.01

(参考) 自己資本 2021年3月期 24,769百万円 2020年3月期 22,948百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は添付資料4ページをご覧ください。

また、今後、業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合は速やかに開示いたします。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は決算短信に添付しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(連結貸借対照表関係)	13
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
(開示の省略)	17
4. その他	18
(1) 生産、受注及び販売の状況	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、政府による緊急事態宣言が2回にわたり発令されるなど、年間を通じて経済活動、社会生活ともに大きく制限され、厳しい状況が続きました。国内においては、経済活動再開に向けた政策が講じられたことにより、回復の兆しは見られるものの、世界的に感染症拡大の収束時期は未だ見通すことができず、先行きは不透明な状況が続いており、今後、長期化することが懸念されております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、水処理及び廃棄物処理の環境関連事業に係る国内公共投資は、頻発かつ激甚化している自然災害に対する防災・減災、国土強靱化対策、地球温暖化防止や循環型社会の構築に資する関連需要により、前期に引き続き堅調に推移しました。水処理関連事業及び化学・食品機械関連事業に係る国内の民間設備投資は、一部に新型コロナウイルス感染症拡大により投資を見送る動きも見られましたが、概ね横ばいとなりました。

このような状況の中、当社グループでは、企業理念のもと、社会に貢献しつつ、これからも時代を超えて繁栄し続けることを全社で共有し、当期2020年度を最終年度とする5ヵ年の中期経営計画において、その基本方針である「①主力事業のリノベーション」、「②海外展開・新規事業での着実なビジネスの拡大」、「③神戸製鋼グループとの連携強化」に沿った諸施策を実施し、事業活動を展開してまいりました。

当期の経営成績につきましては、受注・受託高は水処理関連事業及び廃棄物処理関連事業で大型案件の受注があった前期に比べ25,431百万円減(21.0%減)の95,543百万円となり、当期末の受注・受託残高は、前期に比べ16,862百万円減(7.5%減)の209,282百万円となりました。売上高は、大型案件の工事進捗の寄与やアフターサービスの増加などにより、前期に比べ14,407百万円増(14.7%増)の112,405百万円、利益に関しては、増収や収益性改善などにより、営業利益は前期に比べ2,131百万円増の5,635百万円、経常利益は前期に比べ2,143百万円増の5,673百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の計上や法人税等を差引いた結果、前期に比べ888百万円増の3,617百万円となりました。

現中期経営計画の最終年度の数値目標でありました連結売上高1,100億円、連結経常利益50億円を達成いたしました。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (水処理関連事業)

受注・受託高は前期に比べ11,077百万円減の42,432百万円、受注・受託残高は前期に比べ121百万円減の64,774百万円となりました。

また、売上高は前期に比べ5,373百万円増の42,554百万円となり、経常利益は、前期に比べ1,719百万円増の2,264百万円となりました。

#### (廃棄物処理関連事業)

受注・受託高は前期に比べ14,094百万円減の42,802百万円、受注・受託残高は前期に比べ15,950百万円減の138,008百万円となりました。

また、売上高は前期に比べ7,041百万円増の58,752百万円となり、経常利益は前期と同水準の2,745百万円となりました。

#### (化学・食品機械関連事業)

受注・受託高は前期に比べ374百万円減の10,174百万円、受注・受託残高は前期に比べ786百万円減の6,488百万円となりました。

また、売上高は前期に比べ1,878百万円増の10,960百万円となり、経常利益は前期に比べ412百万円増の1,363百万円となりました。

なお、前期まで経営成績における数値指標を「受注高」としておりましたが、当期より「受注・受託高」とし、これまでの受注高に、長期運転維持管理案件の受託高を加えた数値へ変更しており、前期との比較においても変更後の数値と比較しております。また、前期末の長期運転維持管理案件の受託残高145,586百万円は、当期首の受注・受託残高に含めております。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は95,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,298百万円増加しました。流動資産は71,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,398百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加12,814百万円によるものです。固定資産は24,238百万円となり、前連結会計年度末に比べ900百万円増加しました。

負債合計は62,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,213百万円増加しました。流動負債は52,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,797百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加3,599百万円、電子記録債務の増加1,083百万円によるものです。固定負債は9,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円減少しました。

純資産合計は33,450百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,085百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益3,617百万円の計上による増加、配当金725百万円の支払いによる減少によるものです。この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は、34.6%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、未収入金の減少、短期借入金の増加等の収入要因はありましたが、売上債権の増加、法人税等の支払額等による支出要因により、前連結会計年度末に比べ554百万円減（10.4%減）の4,757百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## &lt;営業活動によるキャッシュ・フロー&gt;

営業活動の結果支出した資金は、1,044百万円（前年同期は5,256百万円の収入）となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益5,432百万円、売上債権の増加12,330百万円、によるものであります。

## &lt;投資活動によるキャッシュ・フロー&gt;

投資活動の結果支出した資金は、1,941百万円（前年同期は2,291百万円の支出）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出1,346百万円、無形固定資産の取得による支出348百万円によるものであります。

## &lt;財務活動によるキャッシュ・フロー&gt;

財務活動の結果取得した資金は、2,398百万円（前年同期は2,955百万円の支出）となりました。

これは主に短期借入金の増加による収入3,584百万円、配当金の支払額725百万円によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、下記のとおりであります。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	34.0	35.6	31.9	34.4	34.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	55.0	43.7	33.8	32.9	42.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.5	0.9	—	1.9	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	100.7	121.5	—	105.5	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
4. 2021年3月期及び2019年3月期の営業キャッシュ・フローがマイナスのため該当箇所は記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、水処理及び廃棄物処理の環境関連事業に係る国内公共投資は、概ね堅調に推移するものと認識しております。水処理関連事業では、自然災害に対する国土強靱化政策により、当面の需要は継続するものの、カーボンニュートラル・広域化・官民連携などの市場変化への対応が必要であると考えております。廃棄物処理関連事業では、基幹改良ニーズが堅調であり、また、再生可能エネルギーの利用や廃プラスチック問題への対応が必要であると認識しております。水処理関連事業及び化学・食品機械関連事業に係る国内の民間設備投資は、新型コロナウイルス感染症に起因する変動に十分に留意する必要があると考えております。

引き続き、新型コロナウイルス感染症が経済活動や社会生活に大きな影響を与えていることから、海外市場を含め、当社グループを取り巻く市場全体としては、全般的に予断を許さないものと考えております。

このような中、当社グループでは、2022年3月期、通期の連結業績見通しといたしましては、売上高110,000百万円、営業利益5,000百万円、経常利益5,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,300百万円を見込んでおります。

上記金額には消費税等を含んでおりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、I F R S（国際会計基準）については、今後も制度動向等を注視してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,311	4,757
受取手形及び売掛金	43,071	55,885
電子記録債権	1,111	1,000
商品及び製品	84	102
仕掛品	※1 2,848	2,356
原材料及び貯蔵品	968	974
短期貸付金	4,392	4,473
その他	3,672	2,314
貸倒引当金	△103	△111
流動資産合計	61,356	71,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,463	16,422
減価償却累計額	△9,938	△10,324
建物及び構築物 (純額)	6,524	6,097
機械装置及び運搬具	13,284	12,609
減価償却累計額	△10,011	△9,671
機械装置及び運搬具 (純額)	3,272	2,938
土地	3,516	3,560
建設仮勘定	250	711
その他	1,864	1,906
減価償却累計額	△1,409	△1,477
その他 (純額)	455	428
有形固定資産合計	※4 14,019	※4 13,736
無形固定資産		
顧客関連資産	384	164
その他	729	1,133
無形固定資産合計	※4 1,113	※4 1,298
投資その他の資産		
投資有価証券	※2, ※3 577	※2, ※3 818
繰延税金資産	5,230	5,810
退職給付に係る資産	1,277	1,557
その他	1,249	1,146
貸倒引当金	△129	△129
投資その他の資産合計	8,205	9,203
固定資産合計	23,337	24,238
資産合計	84,694	95,993

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,626	13,309
電子記録債務	9,126	10,209
短期借入金	6,167	9,767
未払法人税等	2,294	2,545
未払費用	3,129	4,009
前受金	3,290	3,658
製品保証引当金	1,712	1,786
工事損失引当金	※1 2,673	3,609
その他	2,986	3,909
流動負債合計	45,008	52,805
固定負債		
長期借入金	2,549	2,183
リース債務	57	34
退職給付に係る負債	7,149	6,880
資産除去債務	502	584
その他	61	53
固定負債合計	10,320	9,736
負債合計	55,329	62,542
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,020	6,020
資本剰余金	3,332	3,332
利益剰余金	20,190	23,081
自己株式	△6	△6
株主資本合計	29,536	32,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	154
繰延ヘッジ損益	11	1
為替換算調整勘定	28	52
退職給付に係る調整累計額	△516	588
その他の包括利益累計額合計	△375	797
非支配株主持分	203	225
純資産合計	29,365	33,450
負債純資産合計	84,694	95,993



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	97,998	112,405
売上原価	83,285	95,242
売上総利益	14,712	17,163
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,757	2,808
賞与	945	1,125
退職給付費用	204	216
減価償却費	429	425
見積設計費	1,943	2,255
その他	4,928	4,696
販売費及び一般管理費合計	11,208	11,527
営業利益	3,504	5,635
営業外収益		
受取利息	12	14
為替差益	-	58
受取配当金	94	59
受取補償金	40	-
分析料収入	3	2
その他	34	39
営業外収益合計	185	174
営業外費用		
支払利息	48	73
為替差損	72	-
固定資産除却損	4	36
たな卸資産廃棄損	14	7
その他	18	18
営業外費用合計	159	136
経常利益	3,529	5,673
特別利益		
契約解約益	649	-
特別利益合計	649	-
特別損失		
固定資産除却損	-	241
特別損失合計	-	241
税金等調整前当期純利益	4,179	5,432
法人税、住民税及び事業税	2,424	2,893
法人税等調整額	△998	△1,100
法人税等合計	1,425	1,792
当期純利益	2,753	3,639
非支配株主に帰属する当期純利益	25	21
親会社株主に帰属する当期純利益	2,728	3,617

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,753	3,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	54
繰延ヘッジ損益	△0	△10
為替換算調整勘定	△19	23
退職給付に係る調整額	△133	1,104
その他の包括利益合計	△225	1,172
包括利益	2,528	4,811
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,503	4,790
非支配株主に係る包括利益	25	21

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,020	3,332	18,193	△6	27,539
当期変動額					
剰余金の配当			△725		△725
親会社株主に帰属する当期純利益			2,728		2,728
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			△7		△7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,996	△0	1,996
当期末残高	6,020	3,332	20,190	△6	29,536

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	172	12	48	△382	△149	153	27,543
当期変動額							
剰余金の配当							△725
親会社株主に帰属する当期純利益							2,728
自己株式の取得							△0
連結範囲の変動							△7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△72	△0	△19	△133	△225	50	△175
当期変動額合計	△72	△0	△19	△133	△225	50	1,821
当期末残高	100	11	28	△516	△375	203	29,365

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,020	3,332	20,190	△6	29,536
当期変動額					
剰余金の配当			△725		△725
親会社株主に帰属する当期純利益			3,617		3,617
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			△1		△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	2,891	△0	2,891
当期末残高	6,020	3,332	23,081	△6	32,427

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	100	11	28	△516	△375	203	29,365
当期変動額							
剰余金の配当							△725
親会社株主に帰属する当期純利益							3,617
自己株式の取得							△0
連結範囲の変動							△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	54	△10	23	1,104	1,172	21	1,193
当期変動額合計	54	△10	23	1,104	1,172	21	4,085
当期末残高	154	1	52	588	797	225	33,450

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,179	5,432
減価償却費	1,658	1,457
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,090	71
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	1,521	936
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	7
退職給付に係る資産負債の増減額	384	1,040
受取利息及び受取配当金	△107	△73
支払利息	48	73
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△2
固定資産除却損	4	278
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	-	△12
契約解約益	△649	-
売上債権の増減額 (△は増加)	3,971	△12,330
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△967	479
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,057	863
未払又は未収消費税等の増減額	△1,510	△225
未払費用の増減額 (△は減少)	△53	879
未収入金の増減額 (△は増加)	△657	1,456
預り金の増減額 (△は減少)	△12	1,285
その他	△310	226
小計	5,360	1,845
解約金の受取額	1,931	-
リース契約解約金の支払額	△999	-
利息及び配当金の受取額	107	73
利息の支払額	△49	△73
法人税等の支払額	△1,094	△2,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,256	△1,044
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△925	△1,346
有形固定資産の売却による収入	8	2
無形固定資産の取得による支出	△164	△348
投資有価証券の取得による支出	△48	△176
投資有価証券の売却による収入	7	19
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△1,193	△81
その他	24	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,291	△1,941
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△1,774	3,584
長期借入金の返済による支出	△382	△366
配当金の支払額	△725	△725
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△85	△88
その他	12	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,955	2,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5	△562
現金及び現金同等物の期首残高	5,015	5,311
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	290	8
現金及び現金同等物の期末残高	※ 5,311	※ 4,757

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 24社

当連結会計年度において、廃棄物処理施設の運営管理事業を開始した1社を新たに連結の範囲に含めておりません。

(2) 非連結子会社の数 4社

(3) 非連結子会社について連結の範囲から除いた理由

非連結子会社については、その総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は連結会社のそれらの合計額に比べ、重要性が乏しいため連結の範囲に含めておりません。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法を適用していない会社については、これらの会社の当期純損益及び利益剰余金等のうち持分に見合う額の合計額が、連結会社のそれらの合計額に比べ、重要性が乏しいため持分法を適用しておりません。

## (連結貸借対照表関係)

※1 損失が見込まれる工事契約に係るたな卸資産と工事損失引当金は、相殺表示しております。相殺表示したたな卸資産に対応する工事損失引当金の額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
仕掛品に係るもの	23百万円	一百万円

※2 非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
投資有価証券	210百万円	277百万円

※3 担保に供している資産

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
投資有価証券(関係会社株式)	45百万円	45百万円

(注) 前連結会計年度の担保資産については、連結上消去されている投資有価証券(関係会社株式)305百万円を担保に供しております。当連結会計年度の担保資産については、上記の他、連結上消去されている投資有価証券(関係会社株式)305百万円を担保に供しております。これらは、廃棄物処理施設の運営・維持管理を受託している関係会社の業務遂行に係る保証のために差入れたものであります。

※4 国庫補助金等により固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額及びその内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
圧縮記帳額		
建物及び構築物	326百万円	326百万円
機械装置及び運搬具	466	466
無形固定資産	25	25
計	818	818

## (連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
現金及び預金勘定	5,311百万円	4,757百万円
現金及び現金同等物	5,311	4,757

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を分析・評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、社内に設置する製品別の事業部門を基礎とした「水処理関連事業」、「廃棄物処理関連事業」及び「化学・食品機械関連事業」の3つのセグメントを報告セグメントとしております。

各セグメントは、それぞれが所管する事業（子会社の事業を含む）に関して、国内及び海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

各報告セグメントの主な製品又は事業内容は次のとおりであります。

(1)水処理関連事業

工業用水及び上・下水道の設備及び装置、超純水・純水の製造設備及び装置、工場用水及び廃水の処理装置、下水汚泥・食品等有機廃棄物の資源化設備、工業用・空調用冷却塔

(2)廃棄物処理関連事業

都市ごみの焼却・熔融施設、PCB無害化処理関連、廃棄物のリサイクル施設運営、廃棄物の最終処分場運営、木質バイオマスによる発電及び売電

(3)化学・食品機械関連事業

化学工業用機器・装置、粉粒体機器・装置、醸造用機器、水素酸素発生装置

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメント損益は、経常利益であります。なお、セグメント間の取引は、市場価格等に基づいております。



3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,155	51,710	9,058	97,924	73	97,998
セグメント間の内部売上 高又は振替高	25	-	23	49	△49	-
計	37,181	51,710	9,082	97,974	23	97,998
セグメント損益	545	2,710	951	4,206	△677	3,529
セグメント資産	22,755	32,774	8,826	64,355	20,339	84,694
セグメント負債	13,924	17,489	2,879	34,292	21,037	55,329
その他の項目						
減価償却費	394	776	199	1,369	289	1,658
のれんの償却額	-	2	-	2	-	2
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	405	209	140	754	223	977

- (注) (1) 外部顧客への売上高の調整額73百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。  
(2) セグメント損益の調整額△677百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
(3) セグメント資産の調整額20,339百万円は、各報告セグメントに配分していない現預金及び管理部門の固定資産等であります。  
(4) セグメント負債の調整額21,037百万円は、各報告セグメントに配分していない短期借入金、未払法人税等、未払費用等であります。  
(5) 減価償却費の調整額289百万円は、各報告セグメントに配分していない管理部門の建物等の減価償却費であります。  
(6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額223百万円は各報告セグメントに配分していない管理部門のシステム関連等の固定資産増加であります。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,542	58,752	10,958	112,253	152	112,405
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11	-	2	14	△14	-
計	42,554	58,752	10,960	112,267	138	112,405
セグメント損益	2,264	2,745	1,363	6,372	△699	5,673
セグメント資産	27,324	41,439	8,863	77,626	18,367	95,993
セグメント負債	13,820	21,220	3,001	38,041	24,501	62,542
その他の項目						
減価償却費	181	781	201	1,163	294	1,457
のれんの償却額	-	2	-	2	-	2
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	699	294	164	1,157	348	1,505

- (注) (1) 外部顧客への売上高の調整額152百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。
- (2) セグメント損益の調整額△699百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (3) セグメント資産の調整額18,367百万円は、各報告セグメントに配分していない現預金及び管理部門の固定資産等であります。
- (4) セグメント負債の調整額24,501百万円は、各報告セグメントに配分していない短期借入金、未払法人税等、未払費用等であります。
- (5) 減価償却費の調整額294百万円は、各報告セグメントに配分していない管理部門の建物等の減価償却費であります。
- (6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額348百万円は各報告セグメントに配分していない管理部門のシステム関連等の固定資産増加であります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,809円48銭	2,061円63銭
1株当たり当期純利益金額	169円33銭	224円49銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	2,728	3,617
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	2,728	3,617
普通株式の期中平均株式数(株)	16,115,838	16,115,752

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## (開示の省略)

以下の注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

- ・未適用の会計基準等
- ・連結損益計算書関係
- ・連結包括利益計算書関係
- ・連結株主資本等変動計算書関係
- ・リース取引関係
- ・金融商品関係
- ・有価証券関係
- ・デリバティブ取引関係
- ・退職給付関係
- ・税効果会計関係
- ・資産除去債務関係
- ・関連当事者情報

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	対前期増減率 (%)
水処理関連事業	42,388	13.1
廃棄物処理関連事業	58,717	13.3
化学・食品機械関連事業	10,620	11.2
小計	111,726	13.1
調整額	182	—
合計	111,908	13.1

(注) 金額は販売価格で表示しております。

## ② 受注・受託実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注・受託高	
	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	対前期増減率 (%)
水処理関連事業	42,432	△20.7
廃棄物処理関連事業	42,802	△24.8
化学・食品機械関連事業	10,174	△3.6
小計	95,409	△21.0
調整額	133	—
合計	95,543	△21.0

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 当連結会計年度の受注・受託高の数値は長期運転維持管理案件の受託高を含めた数値としております。

3. 対前期増減率は受託高を含めた実績数値との増減率を算定しております。

4. 当連結会計年度の受注・受託高に含まれる海外受注高は7,681百万円であります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注・受託残高	
	当連結会計年度末 (2021年3月31日現在)	対前期増減率 (%)
水処理関連事業	64,774	△0.2
廃棄物処理関連事業	138,008	△10.4
化学・食品機械関連事業	6,488	△10.8
小計	209,272	△7.5
調整額	10	—
合計	209,282	△7.5

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 当連結会計年度末の受注・受託残高に長期運転維持管理業務の受託高を含めております。

3. 対前期増減率は受託高を含めた残高数値との増減率を算定しております。

4. 当連結会計年度末の受注・受託残高に含まれる海外受注残高は11,058百万円であります。

## ③ 販売実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	対前期増減率 (%)
水処理関連事業	42,554	14.5
廃棄物処理関連事業	58,752	13.6
化学・食品機械関連事業	10,960	20.7
小計	112,267	14.7
調整額	138	—
合計	112,405	14.7

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 当連結会計年度の販売実績に含まれる海外売上高は6,132百万円であります。

[決算発表 補足資料]

1. 連結経営成績

(単位：億円)

	2019年度 ①	2020年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	979	1,124	+144	+14.7%
営業利益	35.0	56.3	+21.3	+60.8%
経常利益	35.2	56.7	+21.4	+60.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	27.2	36.1	+8.8	+32.6%
1株当たり 当期純利益 (単位：円 銭)	169.33	224.49	+55.16	+32.6%

2. 連結受注・受託状況 (長期運転維持管理業務の受託高を含む)

(単位：億円)

	2019年度 ①	2020年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	535	424	△110	△20.7%
廃棄物処理関連事業	568	428	△140	△24.8%
化学・食品機械関連事業	105	101	△3	△3.6%
消去・調整額	0	1	+1	—
受注・受託高合計	1,209	955	△254	△21.0%
受注・受託残高	2,261	2,092	△168	△7.5%

### 3. 連結セグメント情報

#### 1) 売上高

(単位：億円)

	2019年度 ①	2020年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	371	425	+53	+14.5%
廃棄物処理関連事業	517	587	+70	+13.6%
化学・食品機械関連事業	90	109	+18	+20.7%
調整額	0	1	+1	—
合計	979	1,124	+144	+14.7%

#### 2) 経常利益

(単位：億円)

	2019年度 ①	2020年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	5.4	22.6	+17.1	+315.4%
廃棄物処理関連事業	27.1	27.4	+0.3	+1.3%
化学・食品機械関連事業	9.5	13.6	+4.1	+43.3%
調整額	△6.7	△6.9	△0.2	—
合計	35.2	56.7	+21.4	+60.7%

### 4. 連結財政状態

(単位：億円)

	2019年度 ①	2020年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
総資産	846	959	+112	+13.3%
負債	553	625	+72	+13.0%
純資産	293	334	+40	+13.9%
自己資本比率	34.4%	34.6%	+0.2pt	—
外部負債残高※	87	119	+32	+37.1%
1株当たり 純資産(単位：円銭)	1,809.48	2,061.63	+252.15	+13.9%

※ 外部負債残高は借入金から構成されており、リース債務を含めておりません。

## 5. 経営指標

	2019年度	2020年度	前期比増減
	①	②	②-①
ROA（総資産経常利益率）	4.1%	6.3%	+2.2pt
ROE（自己資本当期純利益率）	9.7%	11.6%	+1.9pt
D/Eレシオ（単位：倍）	0.29	0.36	

## 6. 連結キャッシュ・フローの状況

（単位：億円）

	2019年度 ①	2020年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
営業活動による キャッシュ・フロー	52	△10	△63	-
投資活動による キャッシュ・フロー	△22	△19	+3	-
財務活動による キャッシュ・フロー	△29	23	+53	-
現金及び現金同等物残高	53	47	△5	△10.4%

## 7. 配当の状況

	2019年度 ①	2020年度 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
年間配当金（単位：円 銭）	45.00	60.00	15	+33.3%
配当金総額（単位：百万円）	725	966	241	+33.3%
配 当 性 向	26.6%	26.7%	+0.1pt	-
純 資 産 配 当 率	2.6%	3.1%	+0.5pt	-

## 8. 2022年3月期の連結業績予想

（単位：億円）

	2020年度 ①	2021年度予想 ②	前期比増減	
			②-①	増減率
売 上 高	1,124	1,100	△24	△2.1%
営 業 利 益	56.3	50.0	△6.3	△11.3%
経 常 利 益	56.7	50.0	△6.7	△11.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	36.1	33.0	△3.1	△8.8%